



神内っ子

笠岡市立神内小学校 学校だより
令和4年1月28日 No.23

【笠岡東中学校区小中一貫教育 教育目標】

- 郷土を愛し、夢の実現に向けて高め合い、たくましく生きる児童・生徒の育成
- ・進んで学ぶ子
- ・思いやりのある子
- ・元気な子
- ・ふるさと大好き神内っ子



大寒の学校生活



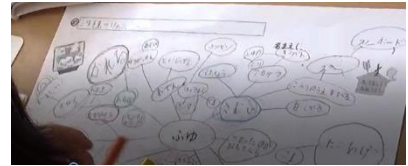
新型コロナウイルスのオミクロン株の感染拡大により、急遽参観日を中止しました。お休みを取られていた保護者の皆さまには、大変ご迷惑をおかけしました。子どもたちはこの日を楽しみに、たいへん張り切っていました。そして、今回は、各学年で人権に関する授業を予定しており、授業について親子で一緒に考える機会にしたいと考えていたので、とても残念です。

3年生は『おじいさんの「こんにちは」』という題材で授業をする予定でした。おじいさんが赤ちゃんと一緒にいる人には小さい声であいさつをし、お年寄りの人には大きな声であいさつをしていたことから、その理由をまず自分で考え、その後グループで話し合って考えをまとめたり深めたりしていました。相手の立場になって行動することの大切さについてたくさん意見を発表していました。

コロナ禍の大寒ですが、子どもたちは元気いっぱい生活しています。業間休みには、相変わらず外で思い切り体を動かしています。この時期は、縄跳びをしている児童が増えました。

6年生の体育の授業は、長縄跳びでした。引っかかって悔しがり、記録にチャレンジしながら真剣に楽しんで取り組んでいました。とてもほほえましい光景でした。

1年生は「冬さがし」に出掛けました。教室に戻ってからは、『ウエビング』という思考ツールを使って、「はっぱのいろがうすい」「木にはっぱがない」「さむすぎる」など、どんどん冬のイメージを広げていました。コロナと寒さ負けず、元気に冬を乗り切ってほしいと思います。



小中一貫教育③ ～令和3年度第3回笠岡東中学校区 学校運営協議会～

1月20日、今年度第3回学校運営協議会を、神内小学校体育館で開催しました。学校運営協議会は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むという趣旨のもと、公民館長やPTA会長、愛育委員など各学校7名の委員と学校関係者計29名で組織されています。授業参観・見学を行ったり、各学校の取組についての報告を受けたりして協議し、評価をして学校教育を推進していこうとする会です。第1回は笠岡東中学校、第2回は中央小学校、そして第3回を神内小学校で行い、小中一貫教育推進についての話し合いを重ねてきました。

この日は、授業参観の代わりに神内小学校の授業の様子を動画で紹介し、学校自己評価の報告を行いました。その後地域学の取組について各校が報告し、今後の取り組みについて協議をしました。神内小学校では、生活科と総合的な学習の時間に進めている地域学を紹介しました。改めて、たくさんの地域の方、保護者の方に支えていただいていることを実感しました。アンケートで、ほぼ100%の児童が「神島が好き。」と回答しているように、神島は、自然も歴史も文化も温かい人のつながりもあって、本当にステキなところだと委員さんと確認しました。

